

TIC NEWS

vol. **71**
2004.4

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテック・タワー111 4F
TEL(076)444-2500
FAX(076)444-2600
E-mail:tic@tic-toyama.or.jp
URL:http://www.tic-toyama.or.jp



モンゴルの青い空と子供たち - 日本語教育に従事するシニアボランティアの山崎さん

“笑顔”と“気持ち”は国境を越えた！

3期目の富山県シニア国際協力事業の参加者募集が始まります。15年度は中国、韓国、モンゴルの3ヶ国に8の方が派遣されました。皆さんの目覚ましい活躍は派遣国でも新聞などに掲載されるなど、多くの反響をよんでいます。15年度の活動報告は特集欄をご覧ください...。

富山県大連事務所オープン！

富山県大連事務所は、ますます活性化する経済交流や学術文化交流、環境協力留学生支援などの機能を有する本県の中国における活動拠点として、この4月にオープンします。



倉嶋所長

大連事務所の役割

経済交流の推進

県内企業への支援及び中国からの企業誘致

- ・ 中国全土を対象に企業立地環境、消費市場等について情報収集します。
- ・ 環日本海貿易交流センターと連携し、県内企業のニーズ把握や情報の提供を行います。
- ・ 中国国内の専門家（中国事情、会計、法務等）による専門相談及び中国関係機関との連絡調整を行います。
- ・ 中国企業等の本県への誘致活動を行います。

観光客の誘致（観光PR活動の実施）

医薬品市場の調査（中国の薬事制度や、医薬品の流通・消費事情を調査）

学術文化交流等の各種交流事業への支援

学術研究交流、文化交流、環境協力、留学生受入れなどの各種交流事業を支援します。

人的ネットワークの構築

「富山ファンクラブ（仮称）」の設置

- ・ 研修や留学などで富山県に滞在経験等のある中国人により構成する「富山ファンクラブ（仮称）」を設置し、中国人による人的ネットワークを構築するとともに、事務所事業への協力を得ます。

事務所協力員会議の設置

- ・ 進出企業の現地代表者等に事務所協力員を委嘱し、現地事情や企業支援策等について意見交換を行うことにより、事務所運営への協力を得ます。



事務所が設置される大連の森ビル

～ 国際交流協力活動助成金のご案内 ～

県内の国際交流団体の皆様へ！

当センターでは、文化・スポーツ・芸術などの国際交流並びに国際協力活動に対して一部助成を行っています。

助成金は、対象経費の2分の1以内の額で、20万円を限度額としています。ただし、営利目的、または国、地方公共団体の助成金を受けている場合は対象外です。

詳しくは、とやま国際センターまでお問合せください。

(* 要綱はとやま国際センターのホームページをご覧ください。)



平成15年度助成対象事業より～
日本・ロシア協会富山県支部主催の着付体験講座
「第3回ウラジオストク・ピエンナーレ」において

環日本海交流会館 4月22日(木)開館!

22日 午後2時から開館式を行います!

環日本海地域との交流が盛んになっているおり、環日本海について理解を深め、環日本海地域の人々との交流を図る場として整備していました「環日本海交流会館」が4月22日にオープンします。

この会館は、県民と外国人相互の交流の場として、また、国際交流団体やボランティアの皆様方などに国際交流・協力活動の拠点として広く利用していただくことを目的に整備されました。皆様方のご利用をお待ちしております。



【交流サロン】

中国、韓国、ブラジルの番組が視聴できます。外国語雑誌、新聞も閲覧できます。



【大会議室】

広さは111.3㎡。
会議、研修、パーティなどに使用できます。

その他にもこんな設備が...

会議室.....中国、韓国、ロシア、モンゴル、それぞれの展示がある会議室です。

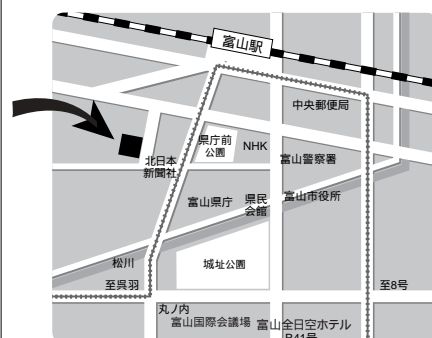
情報コーナー.....インターネットを無料で利用できます。

ボランティア室...コピー機、国際交流団体等のためのロッカーを用意しています。

留学生等学習室...留学生などが学習室として利用できます。

和室研修室.....お茶、お花など日本文化を伝える教室が開催できます。

環日本海交流会館はこちらです!



所在地：富山市内幸町6番6号
Tel：076 444 7679

- ▶開館時間 月～金曜日(水曜日を除く)
10:00～21:00
土、日、祝日 10:00～17:00
- ▶休館日 毎週水曜日、年末年始
- ▶使用目的 国際交流・国際協力、国際理解など国際化に関連のある事業などに使用できます。
- ▶利用方法 会議室、研修室使用の場合は予約が必要です。
- ▶利用料 原則無料

* 4月22日(木)は開館式のため一般開放は4時からとさせていただきます。

TIC日本語学校 第1期生 巣立つ!

3月16日に第1期生15名が1年間の勉学を修了し卒業されました。卒業生は、それぞれが希望する国内及び県内の大学や専門学校へ進学します。第1期生の皆さんには、これからも勉学に励まれ、富山県と出身国との友好交流の架け橋となっただけの事を期待します。



感謝の言葉を述べる卒業生の李さん

“自分が一回り大きくなった”

谷井 輝男さん

指導分野：ニット製品製造
派遣先：中国遼寧省

3ヶ月間の滞在中、遼寧省内の4つの工場で指導にあたられました。ニット製品製造に携わられて40数年、うち約16年は中国の合弁会社で、技術、品質管理の指導をされたという中国通の谷井さん。さらに中国語の学習を重ね、今回ボランティア活動にご参加頂きました。

ひとこと

4つの工場でそれぞれ抱えている問題が違っていました。問題点を短時間で発見、解決することが必要です。最初の日から“教えてほしい”と言ってくる会社はどこにもありません！教える側の実力もまだ分かりませんし、会社側にも自信とプライドがあるからです。最初は会社の商品をよく観察し、そこに欠けている物を足し自分なりに作って見せます。そうして初めて社員が集まり質問が出て、帰る頃には「もう帰るのか！」となるのです。



“忘れがたいふれあい”

内山 久子さん

指導分野：日本語教育
派遣先：中国遼寧省

大連外国語学院への語学留学経験もあり、現地で日本語教師をされた経験もある内山さん。中国語を生かした日本語教育に力を注いでみたいとの希望を胸に参加されました。瀋陽師範大学で発音指導、日本語能力1級試験指導、実用会話、スピーチコンテストの審査などをされました。

ひとこと

ある日1年生の女子学生から電話があり「先生、私達は内山先生が大好きです」と言った後、「みんなで中国の民謡を歌いますから聞いてください」といって電話の向こうで歌い出しました。私の目には次第に涙が溢れてきました。その歌は“冰糖葫芦”という東北地方のお菓子のことを歌ったものです。私が民謡を聞きたいということを知っていた生徒が粋な計らいをしてくれたのです。



“垣根を越えて”

柿谷 利子さん

指導分野：老人福祉 派遣先：韓国江原道

10年間、高齢者住宅福祉に従事された経験をもとに参加を決められました。新しくオープンした老人専門療養施設「報恩の家」で介護について提言・指導されました。

ひとこと

現場では言葉の壁を感じました。辞書を片手にコミュニケーションを図ろうとしましたが、専門用語をどう訳してよいか分からず苛立ちがぬげませんでした。また問題点を指摘しても「現状でよい」といわれ、言わんとすることがなかなか通じませんでした。入所者の中に日本統治下で日本語教育を受けた人が何人もいました。韓国語の渦に流されてしまいそうな思いをしていた私にとって彼らの日本語は安らぎでした。うちとけるにつれ日本語の会話が弾み、日本の唱歌を一緒に歌いました。



“かけがえのない心のつながり”

山藤 登さん

指導分野：日本語教育 派遣先：韓国江原道

県内中学校、高校で国語の教員をされていた山藤さんは、韓国語を勉強されたり、韓国大学生のホームステイを受け入れられるなど、韓国に興味をお持ちでした。江原道では春川市福祉財団と、春川市老人福祉センターで日本語指導に従事されました。

ひとこと

戦前の日本語教育を受けた方から大学生、主婦にいたるまでさまざまなレベルのクラスを教えました。授業態度は年齢に関係なく皆さん熱心で、未知の世界を知ろうとする意欲を感じ、私は久しぶりに幸福感の中に浸りました。旧正月のテポルムの祭りで、私はたいまつを持った行列に加わりました。ピング(わかさぎ)祭りで氷上で魚を釣った事など思い出は尽きません。



韓国

“おもった時”がはじめ 熱く現役！富山県



～平成16年度の派

募集期間：平成16年4月12日(月)～5月20日(木)

選考：第1次選考……書類審査 第2次選考……面接

派遣予定地：中国遼寧省、モンゴル中央県、韓国江原道

派遣期間：最長3ヶ月程度

応募資格：日本国籍を有し、富山県に住んでいて、
身体が健康で、長期の海外生活に耐えられること

派遣前研修：会場…新川学びの森天神山交流館など
内容…派遣地域別の語学指導、日本の文化・生活

処遇：旅費(派遣前研修時、赴任・帰国時の旅費)
福利厚生(労働者災害補償保険、独立行政法人国際協力機構)

問合せ先：富山県生活環境部国際・日本海政策課
(財)とやま国際センター

“自分のため”が“人のため”にもなれば...

奥村 次男さん

指導分野：日本語教育
派遣先：中国遼寧省

プラスチック加工がご専門で外資系企業に勤務されてきた奥村さん。中国への短期留学経験や日本語教育ボランティアの経験をお持ちですが、さらに「日本語教育能力検定試験」に合格され、準備万全で今回の派遣に臨まれました。

ひとこと

相互理解に寄与できる事に一番の意義を感じ、参加を決めました。今まで中国人に日本語を教えたり、中国語を習ったりするなかで常に日本の植民地支配の話題が出てきました。このような負の遺産、過去の現実を直視し、お互いに理解を深めることなくして相互の発展はありません。授業では「中国語で何と言うか?」とよく聞くことにしています。学生側のプライドを満足させ授業が楽しくなるからです。“楽しく”、“病気になるない”を信条に頑張りました。



“ベッカム旋風ならぬ石田旋風?”

石田 容子さん

指導分野：日本語教育
派遣先：中国遼寧省

遼寧省阜新蒙古族自治县にある蒙古族高級中学で学ぶ多数の生徒さんの指導にあたられました。中国へ2年間の留学経験があり、日本語教師養成通信講座も終了され、自宅で外国人研修生に日本語を教えた経験などをフルに活用されました。

ひとこと

「日本語は簡単だから...」とあってあまり学習熱心ではなかった生徒達ですが、私が来てから日本語ブームが沸き起こりました。嬉しかったです。日本人はめずらしかったらしく、私が行くところはどこでも人が集まってきました。よく先生方と食事をする機会があり、その時必ずアルコール度数40度の白酒をすすめられました。限界を超えて飲むと大変なことになってしまいます。あとは気功と柔軟運動で健康を保ちました。



中国

時” 富山県シニア国際協力事業 発 いきいきシニア

16年度で3期目を迎える富山県シニア国際協力事業。第2期の皆さんからのホットな活動報告をご紹介します!

遺者を募集します! ~

考.....面接及び健康診断

工原道、ロシア沿海地方(新規)

いる方 派遣時に満40歳以上、69歳以下の方
付えられる方

ど 期間...約1ヶ月間(土曜、日曜及び祝日を除く)

のODA、海外派遣時の健康管理、海外安全対策等

の航空賃、滞在中の日当・宿泊料)

立行政法人国際協力機構の国際協力共済会に加入)

課 Tel 076 444 8873

Tel 076 444 2500

“温かいホスピタリティーに抱かれて”

山崎 修平さん

指導分野：日本語教育 派遣先：モンゴル中央県

モンゴル中央県教育委員会附属市民教育室主催の日本語教室で中学生23名と受講希望の大人2名に日本語指導をされました。

ひとこと

モンゴルでは気温の激しい変化、乾燥への適応が肝要で、水分補給などには気を配りました。日本の大相撲におけるモンゴル力士の活躍もあり、日本及び日本人への関心は非常に高く、日本車は憧れの的のようです。市内から一步郊外へ出れば青い空と見渡す限りの草原、点在する白いゲル、そこに住む素朴な遊牧民。貧しいながらも大地に根を張って自然とともに生きているモンゴル人を見ると時間に追われている日本人より幸せなのではないかと思いました。



“教えにあって教えられる”

森田 佐代子さん

指導分野：水引工芸 派遣先：モンゴル中央県

水引工芸に取り組んでこられて20年以上になる森田さん。文化教室などでの指導、海外での作品展の経験も豊富です。モンゴル中央県教育委員会附属市民教育室にて指導されました。

ひとこと

当初、水引をどう説明し、どう指導したらよいか、すべてがわからなかったのですが、皆さんが結びを楽しんで下さり、次々と形になっていく作品に感動して下さいました。材料不足になる程でした。また国の一部しか見てない私ですが、「ここも改善してください」「あれも駄目です」と不自由なことをあげればきりがありません。すべてを受け入れ、その中で工夫し、お手伝いできることを学びました。人、人で賑わった作品展では、皆さんの暖かい心に涙せずにはいられませんでした。



モンゴル

国際理解教育と地域の人材活用

～文化紹介のあり方をめぐる課題～

総合・国際理解教育実践研修会より

日時：3月13日(土)

参加者：34名

会場：富山大学教育学部附属教育実践総合センター

主催：富山大学教育学部附属教育実践総合センター
(財)とやま国際センター

共催：独立行政法人国際協力機構北陸支部

研修会では、国際NGO「ピナツボ復興むさしのネット」職員の出口雅子氏が、カルチャーボックス^(注1)の手法を用いたフィリピン理解の学習事例が紹介されました。出口氏は「3F(Food,Fashion,Festival)の国際交流は、日常生活や文化、歴史などをよく表すものであり、異文化理解の入り口としては大変有効な手段である。しかし、ただ楽しかったで終わらせるのではなく、それをきっかけに何を伝えるかが大切」と提言されました。



講師の出口雅子氏

ひきつづき、青年海外協力隊OGの城真紀子さんによる活動報告会がありました。

城さんは、西アフリカ、セネガル共和国で植林活動されたときの様子や異文化生活体験から学んだことを話され、さらに帰国後に県内小中学校などで出前講座^(注2)をしたときに感じた課題なども話されました。

最後に、富山大学教育学部教授の藤原孝章氏をコーディネーターとして、上記2名に加え、富山市立古沢小学校の鍛冶早苗教諭と、当センター配属の村永千秋JICA国際協力推進員をコメンテーターとして、国際理解教育パネルディスカッションを行いました。各コメンテーターが感じている課題を出し合いましたが、学校側と講師側の認識の違いなどが浮き彫りになりました。単なるゲストスピーカーとして呼ぶのではなく、カリキュラム全体の中で講師が果たす役割など、両者での綿密な事前打合せが必要、などの意見が出て、有意義な研修会となりました。

注1：カルチャーボックスとは、紹介したい文化を象徴するような実物を「暗箱(ふろしき)の中に入れておいて、手に取りだし、それをもとに文化を紹介するもの。「何が出てくるか」という期待感が活動を生み出していく学習方法

注2：TIC国際理解出前講座は、JICA国際協力出前講座(JICAボランティアの活動紹介など)国際交流・異文化理解コース(県内在住外国人の母国紹介や交流体験など)県内の国際NGO団体の活動紹介、開発教育ワークショップの4コースから成る。お問合せは、(財)とやま国際センターまで。

JICA国際協力推進員 新旧交代のご挨拶

離任のご挨拶

村永 千秋



平成14年4月から2年間、JICA国際協力推進員として当センターに配属になり、富山県の国際協力を推進するために活動をしてまいりましたが、3月31日をもって離任となりました。

青年海外協力隊の活動経験を活かしての国際協力推進業務が仕事でしたが、実際のところ協力隊の経験だけでは足りないことも多く、周囲の皆様のご支援とご協力があったからこそ業務を遂行することができました。

県民の皆様からいただいた、「海外ボランティアの生の経験談を聞いてみたい」、「県内在住外国人の方々との触れ合いから生まれる“気付き”を大切にしたい」などというご要望をもとに、今年度からTIC国際理解出前講座を実施したところ、予想以上の反響をいただき、改めて県民の皆様への国際理解に対する興味、関心の深さを実感しました。

青年海外協力隊の活動をそれだけで終わらせず、このように国際協力推進員として皆様にお伝えし、国際協力の輪を広げていける業務に携わったことは、私の心に大きな誇りと財産となって残っています。

今後も青年海外協力隊富山県OB会の一会員としての活動は続きますが、これからも富山県の方々への国際協力活動に参加するための側面的なお手伝いできればと思います。

就任のご挨拶

井川 文男

平成13年4月から平成15年4月まで青年海外協力隊農業土木隊員として、東南アジアのラオスで水利関係の仕事に携わっていました。本年4月1日より村永さんの後任として当センターに配属されることが決まりました。地元富山で国際交流・協力の仕事に就くことができ、心より喜んでます。

今までは「ラオスにおいてどのような国際協力ができるか?」を考えて活動してきましたが、今後は「富山においてどのような国際協力ができるか?」を考えながら、協力隊の経験を活かして活動していきたいと思っています。市民の皆様方にご協力頂きながら、県内での活動に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



国際交流員任さん、エリカさんより離任の挨拶

～ たくさんの思い出をありがとう！～

名残惜しい富山



任 智華(中国)

大学を卒業してからずっと日本に住みたいと思っていました。私は遼寧省農業庁国際協力課に勤務しており、富山には仕事で2度来たことがあります。富山へ1年間の赴任が決まり、私は2003年4月9日の日本への出発を待ちに待っていました。緊張に高鳴る胸を抑えながら富山の地に降り立ちました。3年ぶりの富山との再会に、懐かしい思いでいっぱいでした。松川べりの満開の桜を見に集まった大勢の人々が印象的でした。

富山県での国際交流員の仕事が始まりました。

国際交流員の仕事は通訳、翻訳、学校訪問、中国語講座の講師などで、その他様々な社会活動へも参加することができました。活動を通し、国際理解を深め、志と信念を同じくする友達との友情を深め、今後の人生に役立つ貴重な勉強をできたと思います。

また、日本の社会、行政のシステムを体験することで、日本人の仕事に対する計画性、協調性、責任感を身をもって感じました。これは私のかけがえのない財産になると信じています。

富山県は美しく豊かな自然環境に恵まれています。特に漁業 - ホタルイカ、ブリなどの海産物を満喫しました。そして、コシヒカリなど良質の米を生産する農業県でもあります。同時に日本海側屈指の工業県でもあります。これも進取の気性に富み、忍耐強く、勤勉な富山の県民性から生まれたものでしょう。

最後にお世話になった富山県の皆様に御礼申し上げます。機会があれば東西南北で様々な顔をもつ広大な中国へいらっしゃってください。そして、中国人の温かい人情にふれてください。

日本海を隔てて祖国中国の向こうにある私の第二の故郷はやはり富山県です。

国際交流とは



藤木エリカ弥生(ブラジル)

3年前の4月、富山にやってきた時は満開の桜に迎えられました。また桜の季節になり、私の3年間の勤務が修了したことを祝い、見送ってくれているように感じます。ブラジルに比べ日本は季節の区切りがはっきりしています。四季の移り変わり、鮮やかな色彩の変化にはいつも驚かされていました。

富山県では国際交流員としていろいろな分野での経験を重ねることができました。母国を紹介したり、以前から興味があった日本文化、風習などを学んだことは二国間の交流、理解に繋がったと思います。他の国から来た国際交流員とのふれあいも世界の一部との交流であり、お互いへの知識、理解を深めるなかで、国際人に近いものになれたのではないかと思います。

国際交流は両国の理解があるから成り立つものだと思います。真の理解に至るまでは様々な偏見を少なくしていくことが大切です。国同士の理解も素晴らしいですが、自分の周りの人間同士すら理解し合えない状態では成立するものではありません。

例えば、日本は女性に対しての接し方、言葉遣いなどが横柄な点で国際的レベルには達していないと思いました。公共の場で煙草を吸う、吸殻を捨てるなどのマナーも問題です。また、柔軟な考えは必要ですが、だからといって猫も杓子も真似るが如く外国文化を取り入れることは危険です。日本には日本人や外国人も分からない外来語が氾濫しています。

理解には思いやり、受け入れること、そして人から求めるだけでなく自分から与えることが必要です。個人の理解はひいては国同士の理解に繋がるでしょう。

この3年間の富山県での生活を充実したものにできたのは理解者と尊敬できる人々、いろいろお世話になった人のおかげです。本当に3年間ありがとうございました。

中国北京出身 張森さんお薦め料理!
 (日本学術振興会の外国人特別研究員として
 富山県衛生研究所で研究中)

水餃子

中国の水餃子は一般的で、お祝いの時食べます。「春節」と呼ばれる旧正月や、結婚式、赤ちゃんが生まれた時、小麦の収穫時など、家族やお客さんが集まった時などしょっちゅう顔を出すのが餃子です。お正月に食べる餃子の中には小銭を包んだものを一つか二つ忍ばせておきます。その餃子に当たった人にはその年の幸運が約束されるという言い伝えがあります。



～作り方～

- 1 中力粉に水を少しずつ加えながらよく練る。はじめに4等分してから棒状にのばし、包丁で10等分する。打ち粉をしながら麺棒で直径7cm程度の丸型にのばす。
- 2 挽肉と細かく切ったエビにサラダ油を加えながら練る。ネギ、ショウガのみじん切りを加え混ぜ、醤油、ごま油、塩、コショウ、味の素を加え練り混ぜる。最後に白菜とニラのみじん切りを加える。
- 3 皮に具を包む。
- 4 たっぶりの湯に餃子を入れ、沸騰したら差し水をする。これをもう1回繰り返す。3度目の沸騰で取り出す。
- 5 大皿にゆでた餃子を並べ、黒酢をつけていただく。



～材料～(40個分)

- 具**
 豚挽肉200g、エビ10個
 白菜1/4個、ニラ1/2束
 ネギ1本、ショウガ少々
 塩大さじ1～2杯
 醤油大さじ2～4杯
 サラダ油大さじ3～4杯
 ごま油大さじ1～2杯
 コショウ少々
 味の素少々
- 皮**
 中力粉200g、水100～110g
 黒酢

TICからのお知らせ

これからの行事予定

ブラジルー日総領事館

4月18日(日) 9:00～(8:00～12:00受付)高岡市本丸会館

平成16年度富山県シニア国際協力事業派遣者募集

4月12日(月)～5月20日(木) (詳細は特集欄を...)

JICAボランティア春の募集説明会

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア

4月17日(土) 14:00～16:00 サンシップとやま704号室

5月9日(日) 10:00～12:00

高岡市ふれあい福祉センター202号室

5月12日(水) 19:00～21:00 サンシップとやま704号室

シニア海外ボランティア

4月17日(土) 10:00～12:00 サンシップとやま704号室

4月28日(水) 19:00～21:00 サンシップとやま704号室

ライブラリー新着情報!

4月から新しく次の海外雑誌もそろえます!

Reader's Digest (英)、Movieline (英)

Selecciones (西)、南方週末 (中)

その他English Zone、留学ジャーナルも新しくそろえます!

(財)とやま国際センター賛助会員募集中!

当センターの国際交流・協力事業にご支援をお願いします。

年会費(1口)個人会員 3,000円

団体会員 30,000円

賛助会員に対しては税法上の優遇措置があります。

平成16年度各種講座のご案内!

場所: 富山県国際交流センター研修室(インテック明治生命ビル4階)

講座名	内容・対象者	開催期間	時間	曜日	定員	受講料
中国語(入門)	初心者向け 18歳以上	6月14日～2月21日	18:30～20:00	月	40名	6,000円
ポルトガル語(中級)	基礎を習得した人 18歳以上	6月14日～2月21日	18:30～20:00	月	10名	6,000円
韓国語(入門)	初心者向け(文字から) 18歳以上	5月18日～3月22日	18:30～20:00	火	40名	8,000円
ロシア語(入門)	初心者向け18歳以上	6月16日～2月23日	18:30～20:00	水	10名	6,000円
韓国語(中級)	1年程度の学習経験がある方18歳以上	5月19日～3月23日	18:30～20:00	水	40名	8,000円
韓国語(初級)	文字習得済みの初心者向け 18歳以上	5月20日～3月24日	18:30～20:00	木	40名	8,000円
イングリッシュチャット	各国のゲストを迎え英語で会話一般	4月7日～3月16日	19:00～20:30	第1,3水	なし	無料
イングリッシュアドベンチャー	英語を楽しく学ぶ高校生	5月24日～7月12日	17:00～18:30	月	20名	無料

～氏名・年齢・住所・電話番号を明記の上、ハガキ・FAX・E mail・電話でお申込下さい!!～